

絵本やピオトープで学ぶ環境教育

東垣大祐、伊藤波輝、大谷直寛、北村胡桃、柴田理沙、長尾歩実、花谷和志
奥平夏海、古門優衣、坂口友理、櫻井杏子、溝口侑希、山内かれん
中村晃大、中村こころ、藤城美穂
(兵庫県立大学環境人間学部 EHC 学生団体「いきものずかん」)



1. はじめに

いきものずかんは、子どもたちを対象に、分かりやすい環境教育を目指している兵庫県立大環境人間学部 EHC (エコヒューマン地域連携センター) 所属の学生団体です。『海と空の約束』という紙芝居を使い、姫路や神戸などの教育施設や水族館で活動するほか、オリジナル紙芝居『ゆうたくんとイヌワシ』の読み聞かせ、博物館ボランティアなど様々な活動をおこなっています。



～ 主な活動 ～

- ・紙芝居読み聞かせ活動
→『海と空の約束』
『ゆうたくんとイヌワシ』
- ・博物館連携活動 など

2. 『海と空の約束』を用いた環境教育活動

『海と空の約束 (神戸新聞mook)』は、明石市在住の絵本作家・環境教育コーディネーターである西谷寛さんが作成された、自然環境の大切さを伝え・考えるための絵本・紙芝居です。物語は「海」と「空」を擬人化して展開され、お互いに助け合いながら生き物達と暮らし友情を育てていくという、

子どもが興味を持ち、感情移入し易い話になっています。

いきものずかんでは『海と空の約束』を用いて、紙芝居の読み聞かせ活動をおこなっています。



3. オリジナル紙芝居制作

2016年度、いきものずかんでは『ゆうたくんとイヌワシ』というオリジナル紙芝居を制作しました。まだまだいろいろな人の意見を取り入れながら、ブラッシュアップしていく予定です。



4. 博物館連携活動

2016年度から博物館のボランティア活動をおこなっています。さまざまな専門家の環境教育活動、普及活動に直接触れることで自分たちの活動をより良いものにしていこうと考えています。



5. その他の活動

ビオトープの造成

メンバーからの提案で、大学内にビオトープを造成しようと企画しています。実現すれば、近所の幼稚園等の子どもたちと、遊んだり学んだりできる場にしたいと思っています。



新たな拠点発掘

私たちの通う大学がある姫路市内での活動拠点をもっと増やし、主体的な活動ができればと考えています。すでに市内の児童館等と掛け合い、定期的な活動が実現しそうです。



また、さまざまなイベントに参加させてもらったり、内部外部を問わず勉強会などを開いたりすることで、自分たちの活動の向上を目指しています。

